



【どこまでもアメリカに追隨する安倍政権】

	アメリカの態度	安倍政権の対応
入国制限	中東・アフリカ7カ国の市民の入国禁止	コメントする立場にない
通商交渉	「米国第一」主義の2国間交渉を要求	絶対排除するのかわたたら、そうではない
米軍経費	在日米軍駐留経費の日本の負担増を要求	防衛力を強化し役割の拡大をはかる
オスプレイ	墜落事故から6日後に飛行再開	飛行再開は理解できる

環太平洋連携協定（TPP）について、トランプ氏は大統領就任直後に「永久離脱」を決定。「米国第一」主義を実現するための2国間交渉を実施すると公言しています。

2国間交渉迫られると腰砕けに

英字新聞「ジャパンタイムズ」は、安倍首相の異常さを「東京は沈黙」と報じました（1月30日付）。

「日米同盟関係が微動だにしていないことを世界に示していく会談にしたい」と安倍首相は、トランプ米大統領との会談にける意気込みをそう語りました。大統領交代に

トランプ氏の入国禁止措置も容認

「日米同盟関係が微動だにしていないことを世界に示していく会談にしたい」と安倍首相は、トランプ米大統領との会談にける意気込みをそう語りました。大統領交代に

トランプ米大統領にいつさいの批判無し

安倍首相はどこまでアメリカ追隨

首相官邸に置かれた地球儀には米国しか描かれていないのかも。「地球儀を俯瞰（ふかん）する外交」などと言いつつ、国会答弁で安倍晋三首相の米国追隨が極まっています。

よって米国の姿勢がどう変わっても、安倍首相は「米国中心」で固まったままです。

米国の他の同盟国が、トランプ氏による難民や中東・アフリカ7カ国の人たちの入国禁止措置を厳しく批判するなかで、安倍首相は「各国の入国管理政策は基本的には内政事項」、「コメントする立場にはない」と国会で繰り返しています。

安倍首相は、臨時国会の論戦で「再交渉はしない」、「利益を差し出すことはしない」と繰り返しました。しかしトランプ氏が「永久離脱」を決めると、「2国間協議を」絶対排除するのかわたたら、そうではない（1月27日）ととたんに腰砕け。「経済対話」は極めて有意義、「強い米国は日本の利益になる」（30日）と追隨姿勢に転じています。

駐留米軍の日本負担で役割拡大宣言

トランプ氏は、日本の米軍駐留経費の負担を増やすよう求めています。日本維新の会・片山虎之助共同代表が、トランプ氏が日本にこれまで以上の軍事的負担を求めてくることを想定して軍事費大幅増の検討を提案。安倍首相は「わが国としても防衛力を強化し、自らが果たしうる役割の拡大を図っていく」と志しました。米国の求めに応じた軍事費増の道を示したのです。

昨年、沖縄県で墜落したオスプレイが事故後6日目に飛行を再開したことについて、稲田朋美防衛大臣は即座に「理解できる」と表明。安倍首相も、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員の追及に対し、事故調査報告すらないのに「再発防止について有効な対策等が行われているか独自に分析を行った」と容認しました。

県教委は35人学級実施で先生増やさず 増える学級数にふさわしい教員増を

千葉県がこの4月から実施する小学校3年生での35人学級についての続報です。

前号の「がんばい通信」(No.373)で、千葉県教育委員会(県教委)が小学校3年生で35人学級を実施することを決めたと伝えましたが、この実施に当たって県教委は、先生を一人も増やさないで行うとしています。当然、実施のための特別な予算も計上されていません。

県教委の言い分は、「いままで配置してきた少人数指導のための加配(基準より多く配置する)の教員で対応できるから、これ以上増やす必要はない」というものです。しかし、そんな計算通りにできるものではありません。

小学校3年生の35人学級実施で増える学級数は、すべての学校が選択すると約100学級とされています。こんなにクラスが増えるのに先生は増やさないとすれば、先生方をはじめ学校の苦労は大変なものになります。

現場の先生からも、「35人学級になるのは大歓迎だけど、増えた学級数だけ先生を増やすのが当たり前。このまま増やさないで実施すれば、学校現場の苦労はさうとう深刻なものになるのは明らかだ」と厳しい声が寄せられています。

みんなの願いだった35人学級をほんとうに実りあるものにしていくためにも、それにふさわしい正規の先生の増員が緊急に求められています。

- 2・1 ▼県議会開会日
- 2・2 ▼地震津波議員連盟の遠野市長講演会
- 2・3 ▼総合企画部から予算聞き取り/三番瀬専門家会議を傍聴
- 2・4 ▼県議会開会式
- 2・5 ▼千葉県議会
- 2・6 ▼自治体学校



- 1・28 ▼斉藤議員や津副委員長などと船橋駅頭で国会報告宣伝
- 1・29 ▼岩井友子市議と丸山後援会新春の集い/芝山地域集い/全国一般千葉地本旗開き
- 1・30 ▼渡辺優子市議と地域支部の飯山満川水害対策対市要請同席
- 1・31 ▼飯山満地域訪問/椎葉寿幸県副委員長と高根台東の集い



- 1・23 ▼企業土地管理局から予算聞き取り/船橋法人会賀詞交歓会
- 1・24 ▼商工労働部から予算の聞き取り
- 1・25 ▼議会運営委員会/斉藤和子衆院議員と木更津駐屯地視察
- 1・26 ▼県議会開会式
- 1・27 ▼船橋市から学校給食で聞き取り/松崎佐智市議と船橋生活と健康を守る会の対市要請/津田沼革新懇の宣伝と総会/深津俊郎副委員長や金沢和子市議と船橋地区労働組合連合会旗開き

丸山慎一県議 活動日誌